

わとまり

2025.5 / No.399

沖永良部島 和泊町広報誌

しせい・ほうしん【施政方針】（名詞）町の行政運営にあたっての基本的な考え方・予算案・主な政策について述べたもの。

施政方針

令和7年度

はじめに

令和7年度は、まちの将来像「人と未来を笑顔でつなぐ、心豊かな和の町、和泊町」を実現するため、「第6次和泊町総合振興計画」に基づいた事業の推進と、グリーン成長戦略を掲げ、脱炭素事業やみどりの食料システム戦略の推進に積極的に取り組んでまいります。

また、令和6年度に新設された「こども未来課」を中心に、「安心・夢・ゆとりある子育てができるまちづくり」の実現に向けた取組や、重点事業による町民の行政需要に対応する施策を積極的に推進し、全ての町民が安心して暮らし、活躍できる社会の形成に向け取り組んでまいります。

① 活力ある産業の振興

● 農業の振興

さとうきびは、生産振興事業費を活用した、

ドローンによる農薬散布への助成や、早期管理作業の重要性と多収・早期高糖・地域環境にあった品種の選定、栽培管理の励行等を行ってまいります。

バレイシヨは、鹿児島県育成品種「しまあかり」の導入推進について、関係機関と連携を図ってまいります。

さといもとにんにくは、生分解性マルチ推進事業により、引き続き作業の軽労化と環境に優しい栽培を推進してまいります。

切花は、スマートフラワーの産地づくりと消費者ニーズに対応した販売戦略に継続して取り組み、自然災害に備えた施設整備を推進してまいります。

百合球根出荷は、えらぶゆりリバイバル事業を活用し、生産意欲の向上を図るとともに、えらぶゆり振興基金を活用し、ジョージア種の球根を増殖、保存、継承するための取組を推進してまいります。

畜産は、受精卵技術を活用した繁殖雌牛の改良や、暑熱対策等牛舎の環境改善による事故防止等、重点新規事業を実施することにより、畜産振興を図ってまいります。

担い手確保・育成は、地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）を策定し、実現するために実行及び更新を図ってまいります。

輸送コスト支援事業は、流通条件の不利性を改善し、生産振興や産業振興を促進してまいります。

畑かん営農推進は、出前講座や、動画配信サ

イト等を活用し、農家への情報提供を積極的に行い、農家の所得向上に努めてまいります。

地域農産物の高付加価値化の促進として、新たな農産物等の加工を推進し、農産物加工センターが効果的に活用されるよう、運営について検討を進めてまいります。

みどりの食料システム戦略は、化学農薬の使用量低減と作業の軽労化等により、環境にも人にも優しい栽培技術の構築を図ってまいります。

● 農業農村整備

近年の激甚化する自然災害への対応として、応急対策の実施による被害の拡大防止や再発防止を含めた適切な復旧工法により、地域住民の暮らしの安全を確保し、さらには多面的機能支払交付金事業の活用により災害に強い農村づくりを推進してまいります。

● 林業の振興

林業振興は、森林機能の保全及び施設等における木質化の推進、本町の特用林産物である、きくらげの生産者に対する各種支援を推進してまいります。

● 水産業の振興

「浜の活力再生プラン」の実現に向けた、えらぶ漁業集落の支援に加え、「沖永良部島鮮魚」のブランド化に向けた実証、産地PRによる販路拡大を目指してまいります。また、漁ろう設備及び漁業関連機器の導入・更新に対する支援を実施し、操業効率の向上及び漁業経営の安定化を図ってまいります。

● 商工・観光・地域間交流・地域活性化

商工業は、商工会と連携を取りながら、引き続き町内商工業者の経営の安定・向上に努めてまいります。

観光業は、おきのえらぶ島観光協会と連携し、地域と一体となった着地型体験観光メニューの造成を進め、豊かな自然や伝統・文化、食の魅力を活かし、地域内経済の活性化に寄与する観光振興を推進してまいります。

地域間交流は、沖縄県今帰仁村との給食食材交流及びわらんちやヤンバル交流プロジェクトを継続し、更なる交流・連携に向けて取り組んでまいります。

「まちゅんどプロジェクト」は、地域おこし協力隊「しま知るプランナー」が中心となり、島のこども達の郷土を愛する心を育むための活動に取り組んでまいります。

また、引き続き「特定地域づくり事業」を推進し、安定した雇用環境の確保や担い手確保に取り組んでまいります。

② 教育文化の振興と心豊かな人づくり

令和7年度からスタートする第4期和泊町教育振興基本計画に基づき主体的に学ぶ児童生徒の育成を図るとともに、「夢や希望を実現し、ともに未来を創るわどまりの人づくり」を基本目標とし、本町教育の一層の振興に努めてまいります。

● 学校教育の充実

「確かな学力の定着」として、主体的に学ぶ児

童生徒の育成と、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向け、1人1台端末を日常的に使いこなすことや、ICTの効果的な活用推進に取り組んでまいります。また、ALIT（外国語指導助手）・学習支援員の配置、各種学力・学習状況調査の実施と結果分析、中学生への各種検定料助成事業等の実施により、全国レベルの学力を目指します。

「お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」として、発達支持的な生徒指導及び教育相談体制の拡充に努めてまいります。また、道徳教育は、「郷土で育てる肝心（ちむぐくる）の教育」と併せて、児童生徒が他者との関わりを通して行動できる力を身に付けられるよう指導の重点化を図ってまいります。

健やかな体を育む教育の充実として、児童生徒の体力、運動能力の的確な把握と、運動能力、競技力の向上に努めてまいります。

食育の推進として、地場産物を活用した安心安全で栄養バランスのとれた魅力ある学校給食を提供してまいります。

学校施設の維持管理として、施設の安全点検等を実施し、適切な維持管理や施設の長寿命化及び照明のLED化やトイレの洋式化を推進し、教育環境の充実に努めます。また、昨年度に引き続き、児童生徒が演奏する楽器の更新整備を行い、児童生徒の音楽活動を支援してまいります。

特別支援教育の充実のために、学習支援員を適切に配置及び増員し、指導・支援体制の充実を図ってまいります。

● 家庭教育の充実

「家庭教育学級の開設」、「基本的生活習慣の確立」、「学習意欲の向上」、「家庭学習60・120運動」を推進し、家庭教育の充実に努めてまいります。

● 社会教育の充実

中央公民館を地域における学習、人づくり・まちづくりの拠点として、学習内容の充実に努め、町立図書館は、図書及び資料を提供し、学びを共有する交流の場として機能することを目指します。また、町誌「和泊町の歩み」を生涯学習の教材として活用する仕組みを作ってまいります。

芸術・文化活動及び文化財の保護・活用の推進は、郷土の貴重な文化資源の調査・研究を展開し、文化財や伝承芸能を活用した郷土教育の取組を進めるとともに、島ムニの保存・継承活動などを推進してまいります。

スポーツの推進は、関係機関と連携を図りながら、町民の誰もが活動できる生涯スポーツの推進と、大会等の活動に対して支援を行い、競技スポーツの推進に努め、児童生徒が社会体育施設等を使用する際には使用料を免除し、こどもたちの活動意欲を高めるよう努めてまいります。

③ 社会福祉等の充実

● 健康の増進

「第4次健康わどまり21」に基づき、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「生活習慣病」にお

ける対策に取り組み、生活の質の向上、健康寿命の延伸を目指します。

難病やがん治療などは、島外の医療機関を受診しやすいよう、旅費助成など経済的負担の軽減を実施し、自殺対策は、関係機関との連携を一層強化し、「生きる支援」を包括的に取り組んでまいります。

国民健康保険事業は、適正な資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業等を実施し、健全な財政運営に努めてまいります。

後期高齢者医療は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を推進し、健康相談・健康教育を行うことで、高齢者が住み慣れた場所です安心して生活を送れるよう努めてまいります。

●福祉の増進

社会福祉は、相談支援、多様な参加支援の推進、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を実施してまいります。

高齢者福祉及び介護保険は、「和泊町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」に基づき、地域包括支援センターを中心として、介護予防、認知症予防等の各事業を推進するとともに、引き続き高齢者等ハンドル型電動車椅子（シニアカー）購入助成事業を実施し、外出支援、移動支援に取り組んでまいります。

障害者福祉は、「和泊町障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画」に基づき、地域生活の支援体制の充実を図るほか関係機関と連携を図りながら、障害児及び障害者の自立に向けた支援を推進してまいります。

●児童福祉の充実

こどもを生み育てやすい環境の整備を推進するとともに、「和泊町こども計画（第3期子ども・子育て支援事業計画）」を着実に推進し、こどもの最善の利益が実現される社会を目指し、関係機関との連携強化を図り、子育ての喜びを感じられるまちづくりに努めてまいります。

④交通基盤等生活環境の整備

●交通基盤の整備

基幹道路の拡幅や通学路等への歩道設置などの交通安全対策工事や、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の改築修繕を行うなど、車だけでなく歩行者や自転車利用者に配慮した交通環境整備を進めてまいります。また、防災対策として、引き続き無電柱化事業にも取り組んでまいります。今後も、町道をはじめ伊延港、内喜名漁港等施設を安心・安全に利用できるように努めてまいります。

●上水道事業

和泊町水道事業は、人口減少や節水型生活用機器の普及等に伴い、給水収益が減少傾向にあり、企業会計運営の健全化を図るため水道料金の改定を検討する必要があります。新規事業については、越山配水池が令和7年度に法定耐用年数60年を経過するため、施設更新に向け基本計画策定を行います。また、水道施設維持管理や作業の効率化を図るため、水道施設遠方監視システム及び工事用機械の更新を行います。

●下水道事業

公共下水道事業では、施設の長寿命化を図るため、ストックマネジメント計画に基づき、処理施設の処理槽や中継ポンプ施設の機器更新事業を実施してまいります。農業集落排水事業では、強靱化事業により和泊仁嶺・城地区にて処理施設やポンプ施設の機器更新事業を実施してまいります。下水道事業では公営企業会計を一部適用しており、的確な経営状況の把握により、健全な管理運営と施設の適正な維持管理に努めてまいります。浄化槽設置整備事業では、汲み取り及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換を推進してまいります。

●住宅整備事業

住宅政策は、「居住支援協議会」を設立し、空き家減少を目的とした危険廃屋解体撤去を推進してまいります。また、「和泊町公営住宅長寿命化計画」に基づき、公営住宅ストック総合改善事業により、建物の長寿命化を図るとともに、住環境の整備に取り組んでまいります。

●生活環境衛生

沖永良部衛生管理組合及び知名町と連携し、ごみの減量化、再資源化等を図るため、燃えるごみの細分化に向けた協議を進めるとともに「生ごみ処理機等設置費助成事業」を実施してまいります。また、「猫の不妊・去勢手術費補助金交付事業」を引き続き実施することで、地域の良好な生活環境保全に努めてまいります。

●環境にやさしい循環型エコのまちづくり

「脱炭素推進室」を中心に再生可能エネルギー

ーや省エネルギー設備導入などの更なる推進、電力の地産地消による地域経済循環の拡大等、環境にやさしいまちづくりに向け取り組んでまいります。

●安心・安全なまちづくり

SNSを利用した詐欺等、近年多様化する様々な犯罪の未然防止のための啓発や、交通事故・交通違反等の削減に向けての取組を強化し、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。また、防災減災については、自主防災組織と消防団員が密に連携を深め、「自助・共助」を目的とした自主的な防災訓練等を、「公助」により支援することで、地域防災力の充実強化に取り組んでまいります。

防災行政無線は、屋外子局、戸別受信機の整備を進め、緊急時における情報伝達の正確性と迅速性の強化に努めてまいります。

また、地域に密着した安心・安全を提供できる和泊町消防団を継続していきます。

●共生・協働のまちづくり

地域活動を支えるための補助金制度や、地域間のネットワーク作りを支援し、地域住民が協力し主体的にまちづくりに関わることができ、施策を推進してまいります。

男女共同参画の推進は、「多様性に富んだ活力ある和泊町」を目指して、様々な実効性のある取組を進めてまいります。

●デジタル化の推進及び新有線テレビの維持

DXの推進に向けた取組を深化させ、「書かない窓口」、「生成AI」、「電子決裁」等のデジタ

ル技術導入に向けて検討を進め、誰もが恩恵を受けられる「持続可能なデジタル社会」の実現を目指すとともに、更なる利便性向上及び行政の効率化に繋がるよう取り組んでまいります。

新有線テレビは、委託事業者と連携し、引き続き設備の維持管理や補修・強化に努め、円滑な番組提供と、情報通信環境の維持に取り組んでまいります。

●ゆりのふるさと基金事業

新規返礼品の開発や返礼品提供事業者等との協力連携体制を維持し、本町の魅力を発信するとともに、全国の多くの皆様に応援していただけるようなプロモーション活動を積極的に展開してまいります。

⑤ 財政事情及び各会計予算

●財政事情

令和7年度から5年間を「第3期財政健全化集中対策期間」と設定し、機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた取組を推進していく必要があります。

●一般会計予算

令和7年度一般会計予算の歳入、歳出総額は79億7,700万円となり、前年度と比較して10億7,700万円の増額、伸び率にして13.5パーセントの増額となっております。各種財政指標が県内の他市町村と比較しても依然として厳しい水準にあることから、持続可能な町政運営を展開するためにも、職員全体が財政状況に対する危機意識を共有し、予算要求

の段階から徹底した見直しをお願いしたところです。脱炭素事業、防災無線更新、小中学校改修及び総合交流施設建設等の大規模事業、既存施設の維持管理や修繕費の増加、高齢化の進展による扶助費等の増大も見込まれることから、引き続き機能的かつ簡素で効率的な財政運営に向けた取り組みを進めていくこととしております。

●特別会計等予算

区分会計名	予算額
国民健康保険特別会計予算	1,048,937
介護保険特別会計予算	927,566
後期高齢者医療特別会計予算	110,203
奨学資金特別会計予算	6,836
水道事業会計予算(収益的事業)	245,264
下水道事業会計予算(収益的事業)	431,242
計	2,770,048

【単位：千円】

ルにススメ!



和

泊町は2021年
3月に発表した「第

6次和泊町総合振興計画」
の中で、未来への一歩とし
て「あたらむープロジェクト」
を立ち上げました。

「あたらむー」とは「もった
いない」という意味の方言
で、使い捨ての便利さに埋
もれがちな日常を見直す
ことで、モノや資源の循環
を意識しながらごみの排
出量を減らす取組を促進
し、豊かな資源を未来の子
どもたちへ継承していく
ものとなっています。

持続可能なまちづくりに
焦点を当てた連載「サステ
ナブルにススメ!」第3回
は「あたらむープロジェク
ト」について、前登志朗町
長と町民支援課の山下
萌々菜主事が話しました。

町長 あたらむープロ
ジェクト、どのように進ん
でいますか?

町民支援課 これまでに
行われた主な事業は2つ
あります。1つ目は、ごみ

ルにススメ!

サステナブル

ゼロエコ活動支援対策事業です。この事業は、令和2年7月1日からレジ袋が有料化されたことに加えて、事業実施時がコロナ禍で、外出自粛等によってテイクアウト需要が高かったため、長期利用可能なエコバックを各世帯及び町内転入者に配布しました。

町長 現在では、街中で買い物をされているほとんどの方がエコバックを使用されていますよね、皆さんすっかり習慣になっていますね。

町民支援課 はい。多くの方にエコバックを御利用いただくことで、使い捨てプラスチックの排出を抑制できるので、環境問題解決への第一歩となり、持続可能なまちづくりに繋がります。

町長 ぜひ、多くの方に利用していただきたいですね。もう一つの事業についても教えてください。

町民支援課 2つ目は、家庭用生ごみ処理機等設置費助成事業です。この事業では、和泊町に住所があり、家庭用生ごみ処理機を設置または購入した方へ助成金を交付します。これにより、家庭で発生するごみの減量化及び再資源化を図っています。

町長 身近なところから、ごみの減量、まずはできることからですね。

町民支援課 はい。特にキエーロ①やコンポスト②は自然の力だけで処理するので環境にも優しく、生ごみを処理した土は、たい肥としても使用することができます。

町長 環境にも優しく、処理した土を再資源化できて一石二鳥ですね。

町民支援課 生ごみ処理機の利用を促進することで、家庭ごみの排出量を減らすことができて、ごみ焼却における燃料の使用量も削減します。さらに、焼却量が減ることで、焼却施設や最終処分場の延命にもつながります。そして、ごみを出さない暮らしに価値を転換することで、「必要以上には買わない」意識が醸成され、地球上の限りある資源の使用を抑えることにもつながります。

町長 子どもたちに豊かな未来をつなげていくために、広げていきたいですね。

町民支援課 はい。今後も事業継続していく予定なので、より多くの町民の方に利用していただけたら町のごみの減量化が大きく前進していくと思います。

町長 ごみの減量の大切さ、もっと多くの方に広まるといいですね。他に、計画・検討している取組等がありますか。

町民支援課 はい。今後は、こども未来課やタラソおきのえらぶとも連携し、子供服などのフリーマーケットや譲渡会を開催することで、リサイクルやごみの排出抑制に対する意識向上の仕組みづくりをしていきたいと考えています。

町長 モノや資源をぐるぐる回して、町のみんなで無駄を減らしていきたいですね。まだ使えるものを譲り合ったり、そんな毎日のちょっとした工夫が、町の未来を守る力になります。

なります。それは、家計にも優しく、暮らしをもっと豊かにしてくれるはずです。ぜひ、できることから一緒に始めていきましょう。

① キエーロ 神奈川県葉山町在住の松本信夫氏が開発した箱型の生ごみ処理器。

② コンポスト 生ごみや落ち葉などの有機物を微生物の働きで分解・発酵させてたい肥をつくる容器。

① 町で配布している「キエーロの使い方マニュアル」



TOPICS



南西航空警戒管制団司令からの感謝状贈呈

2月18日、南西航空警戒管制団司令 世良達裕空将補より沖永良部島分屯基地における各種任務及び行事等に積極的に協力し円滑な基地運営の支援と、地域に対する防衛の重要性の普及に寄与したとして、和泊町長に感謝状が贈呈されました。この南西航空警戒管制団は、航空自衛隊の中で南西航空方面隊に属しており、沖永良部島分屯基地の第55警戒隊もこの南西航空警戒管制団の一部隊で、飛行する航空機を24時間監視し、対領空侵犯措置などの防空を主な任務として活動しています。



桜ウォーキング

2月1日、越山公園入口を発着点に「桜ウォーキング」が開催されました。生活習慣病予防のための運動習慣のきっかけ作り、また、仲間と一緒に楽しくウォーキングをすることで心身共にリフレッシュすることを目的に毎年開催しています。当日はあいにくの天気ではありましたがコースには満開の桜もみられ、未就学児から90代まで、約30名の島民が参加し、家族や友人たちと桜を見ながらウォーキングを楽しんでいました。



和泊町×今帰仁村歴史文化講座

2月8日、役場結いホールにおいて和泊町×今帰仁村歴史文化講座が開催されました。えらぶ郷土研究会会長の先田光演氏、今帰仁村歴史文化センター館長の玉城靖氏、沖縄国際大学教授の宮城弘樹氏の3名を講師にお招きし、沖永良部島の世之主伝説や600年前から続く今帰仁村と沖永良部島の歴史的・文化的なつながりをテーマに御講演いただきました。初開催にも関わらず、約60名ほどの島民が集まり、理解を深めました。



福元カ子さん100歳祝い

2月3日、和字の福元 カ子さんが100歳を迎えられ、御自宅で長寿賞及び祝金の贈呈式がありました。とても和やかな雰囲気の中、100歳のお祝いが行われました。

TOPICS



鹿児島茶美豚贈呈

2月19日、JAあまみ農業協同組合より和泊町立学校給食センターへ、鹿児島県産豚肉「茶美豚」を170kg贈呈していただきました。鹿児島県の畜産物を和泊町の子ども達に知ってもらいたいという事業の一環として、3月の学校給食で、JAあまみ和泊事業本部とAコープ和泊店と協力し「豚肉と野菜のキムチ炒め」、「仲良しどんぶり」のほか、全部で7品登場しました。御協力してくださった皆さん、ありがとうございました。



人権擁護委員委嘱状伝達式 並びに退任感謝状伝達式

3月6日、町長室において人権擁護委員委嘱伝達式並びに退任感謝状伝達式が行われました。今回退任されたのは、玉城字の前 幸貴さんです。前さんは、平成24年から人権擁護委員を務められ、特設人権相談所の開設や各学校等において出前講座を行うなど、子どもから高齢者まで幅広く地域の人権啓発や相談への対応に尽力してくださいました。後任には、皆川字の榮 修司さんが就任され、委嘱状の伝達式が行われました。



あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社寄附金贈呈式

2月21日、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社鹿児島支店長の大熊建志氏より寄付金の贈呈がありました。同社は地域貢献・社会貢献取組の一環としてペーパーレス保険証券・Web約款を導入しており、本町のカーボンニュートラルの環境保全等への活動に賛同していただき寄附されました。

TOPICS



三恵海運株式会社レスリング班 金メダリスト表敬訪問

3月7日、パリ五輪で金メダルを獲得した、三恵海運株式会社レスリング班の日下 尚選手、清岡 幸大郎選手と藤本 健太監督が前町長を表敬訪問しました。日下選手は「昨年、この島で合宿をしたおかげで金メダルを取って帰って来ることができた。島での砂浜トレーニングで、たまたまウミガメに出会ったことが運をもたらしてくれたんだと思った」、清岡選手は「沖永良部島は初めて来た。たくさん楽しんで、自分の名前を多くの島の皆さんに知ってもらいたい」と話しました。また、9日に開催された花の島沖えらぶジョギング大会にも参加し、島民の方々との交流も楽しみました。



和泊町・今帰仁村 学校給食食材交流プロジェクト

3月7日、国頭小学校の6年生と、沖縄県の今帰仁村今帰仁小学校の5年生が、オンラインで交流を行いました。国頭小学校の子どもたちは、町の特産品であるバレイショの魅力等を今帰仁小学校の子どもたちにPRし、当日の給食には赤土バレイショを用いたじゃがいものそぼろ煮が両学校で振る舞われました。和泊知名両町と今帰仁村は2020年に友好都市協定を締結しており、本プロジェクトは今年で5年目となっています。



令和6年度 和泊町自衛隊入隊者壮行会

3月17日、和泊町役場結いホールにおいて、令和6年度和泊町自衛隊入隊者壮行会が行われました。本年度和泊町出身者からは、1名の入隊予定となりました。壮行会では、前町長から祝辞が贈られ、入隊予定者の市来瑛杜さんは入隊にあたって決意の言葉を述べました。



第41回花の島沖えらぶジョギング大会 フラワーフェスティバル(前夜祭)

3月9日、第41回花の島沖えらぶジョギング大会が開催されました。笠石海浜公園を発着点とし、ハーフ・ハーフリレー・5K・3Kの4つのコースに分かれ、1,302名のランナーがジョギングやウォーキングで爽やかな汗を流しました。走り終えた後は、会場でステージアトラクション・企画イベント、飲食ブース等を楽しみました。前日8日(土)には、和泊中学校体育館において、フラワーフェスティバル(前夜祭)も開催され、沖縄の女性ボーカルユニット「ネーネーズ」とファンタジー系シンガーソングライターの「ドレッシング」さんのスペシャルライブが行われる等大盛況となりました。また、大会後にはやすらぎ館において完走パーティーが開催され、地元の方々が郷土芸能や料理などでおもてなし、島外参加者との交流が行われました。

令和7年度 町職員人事異動

級	氏 名	新 職 名	旧 職 名
課 長 級	長尾 太志	生活環境課長	生活環境課長
	永井 徹	教育委員会事務局長	教育委員会事務局長
	有馬 清武	企画課長	企画課長
	芋高 恵美	大城こども園長	大城こども園主任保育士
	大江 吉郎	税務課長	税務課長補佐
	竹下 泰弘	こども未来課長	税務課長
	名越 晴樹	経済課長	こども未来課長
課 長 補 佐 級	西村 直美	国頭こども園保育士	国頭こども園保育士
	外山 栄美	内城こども園保育士	内城こども園保育士
	沖田 浩幸	企画課長補佐	企画課係長
	田代 勇太	教育委員会事務局次長	経済課係長
	上別府 立	教育委員会事務局次長	教育委員会事務局係長
	山田 哲仁	土木課長補佐	耕地課長補佐
	大吉 智美	大城こども園主任保育士	内城こども園主任保育士
	三島 和乃	内城こども園主任保育士	和泊幼稚園教諭
	大栄 勝吾	耕地課長補佐	税務課長補佐
	弘野 美咲	税務課長補佐	土木課長補佐
係 長 級	三島 才輝	総務課係長	総務課主査
	東山 綾乃	大城こども園保育士	大城こども園保育士
	東 真奈美	こども未来課係長	こども未来課主査
	前田 啓至	税務課係長	税務課主査
	名越 美希	経済課係長	農業委員会事務局係長
	堀江 勇泉	土木課係長	教育委員会事務局係長
	安田 拓	教育委員会事務局係長	企画課係長
3 級 主 査 級	西 静花	総務課主査	経済課主査
	西 佑美	内城こども園保育士	内城こども園保育士
	衛守 歩	企画課主査	企画課主査
	三島 いずみ	農業委員会事務局主査	保健福祉課主査
2 級 主 査 級	菅村 弥那子	大城こども園保育士	大城こども園保育士
	平田 麻子	大城こども園保育士	国頭こども園保育士
	碩 修一郎	経済課主査	教育委員会事務局主事
	竹下 久哉	企画課主査	企画課主事

級	氏 名	新 職 名	旧 職 名
2 級 主 査 級	中野 瑞希	保健福祉課主査	保健福祉課主事
	池田 勇太	保健福祉課主査	保健福祉課主事
	末川 圭太	保健福祉課主査	町民支援課主査
主 事 級	南 ゆうき	企画課主事	和泊幼稚園教諭
暫 定 再 任 用	永山 美智代	総務課主査(短時間)	総務課主査(短時間)
	大吉 聡美	町民支援課主査(短時間)	町民支援課主査(短時間)
	先山 照子	農業委員会事務局主査(短時間)	農業委員会事務局主査(短時間)
	福永 君子	こども未来課主査(短時間)	こども未来課主査(短時間)
	玉野 憲治	耕地課主査(短時間)	生活環境課主査(短時間)
定年前再任用	宮原 芳實	土木課主査(短時間)	土木課主幹
	東 睦仁	生活環境課主査(短時間)	生活環境課参事兼課長補佐
新 規 採 用	坪山 隼人	生活環境課主事	
	田邊 知恵	保健福祉課主事	
	川名 善明	総務課主事	
	和田 ひろ美	こども未来課主事	
	前 孝平	経済課主事	
	先山 慎太郎	保健福祉課主事	
	鍋田 高人	税務課主事	
	中田 仁	教育委員会事務局主事	
	大吉 秀憲	経済課主事	
	泉 仁	土木課主事	
派 遣 ・ 出 向	笠間 晴斗	企画課主事	
	花輪 富八郎	沖永良部衛生管理組合	耕地課係長
	梶原 景之	沖永良部バス企業団	総務課主査
退 職	山下 萌々菜	町民支援課	沖永良部衛生管理組合
	東 敏仁		経済課長
	林 鈴代		大城こども園長
	東 梢		総務課長補佐
	通村 祐明		土木課係長
	玉利 純平		土木課係長
	藤井 一		経済課主事

は昇任・昇格

令和7年度 教職員人事異動

	転出・退職者				転入者			
校名	職名	氏名	地区	新任校(職名)	職名	氏名	地区	前任校(職名)
和泊小	教頭	柴田 浩	行政	南大隅町教育振興課 (参事兼学校教育係長兼指導主事)	教頭	竹中 寛之	南薩	南さつま市立川畑小(教頭)
	教諭	宮田 哲生	北薩	薩摩川内市立隈之城小(教諭)	教諭	西 雄大	南薩	枕崎市立桜山小(教諭)
	教諭	貴島 武徳	大島	和泊町立和泊中(教諭)	教諭	本村 諒子		新規採用
	講師	大納 正子		任期満了	教諭	松山 淳	大島	知名町立下平川小 暫定再任用・短時間(初任研)
	講師	前 衣津美		任期満了	講師	大納 正子		和泊町立和泊小(講師)
	栄養教諭	折田 佳奈		任期満了	栄養教諭	森園 允子		臨時的任用
大城小	講師	小山 倭加		任期満了	講師	通村 祐衣		臨時的任用
	事務主査	松木 慶子	始伊	湧水町立吉松中学校(事務主査)	事務職員	上床 朋恵	南薩	南さつま市立金峰学園(事務職員)
内城小	校長	岩戸 孝夫	鹿児島	いちき串木野市立羽島小(校長)	校長	伊東 智志	鹿市	鹿児島市立錫山小(校長)
	教諭	山口 芳野	鹿児島	日置市立美山小学校(教諭)	教諭	栄 修一郎	大島	奄美市立住用小(教諭)
	教諭	朝尾 幸恵	始伊	霧島市立日当山小(教諭)	教諭	古市 彩希子	始伊	始良市立帖佐小(教諭)
	教諭	襦占 洋祐	鹿児島	日置市立伊集院小(教諭)	教諭	道岡 涼帆	北薩	薩摩川内市立入来小(教諭)
	講師	平山 あすか		任期満了	講師	澤山 高士		臨時的任用
	事務主査	赤谷 幸		普通退	事務主査	濱島 優子	鹿市	鹿児島市立宮川小(事務主査)
国頭小	教頭	西村 慎哉	南薩	指宿市立柳田小(教頭)	教頭	川上 淳一	大隅	志布志市立安楽小(教頭)
	教諭	津田 真生	大隅	志布志市立原田小(教諭)	教諭	池田 光明	鹿市	鹿児島市立小山田小(教諭)
	教諭	福元 哲勇	大島	知名町立田皆小(暫定再任用)	教諭	西 咲蘭子		新規採用
	講師	村田 彰		任期満了	講師	村田 彰		和泊町立国頭小(講師)
	講師	新納 美保		任期満了				
	専門員	宮山 博弥	大島	和泊町立和泊中(専門員)	事務職員	川原 涼	鹿市	新規採用
和泊中	教諭	東 博志	北薩	薩摩川内市立川内中央中(教諭)	教諭	貴島 武徳	大島	和泊町立和泊小(教諭)
	講師	福島 未稀波		任期満了	講師	福島 未稀波		和泊町立和泊中(講師)
	養護教諭	今東 花菜子	大島	和泊町立城ヶ丘中(養護教諭)	養護助教諭	森岡 香代子		徳之島町立手々小(養護助教諭)
	事務職員	大迫 潤一	始伊	伊佐市立大口東小(事務主査)	専門員	宮山 博弥	大島	和泊町立国頭小(専門員)
城ヶ丘中	校長	吉永 美利	大島	和泊町立城ヶ丘中(校長)	校長	吉永 美利	大島	和泊町立城ヶ丘中(校長)特例任用
	教諭	鶴園 淳二	鹿市	鹿児島市立郡山中(教諭)	教諭	松元 愛実	鹿市	鹿児島市立和田中(教諭)
	講師	水間 徹		任期満了	教諭	久木井 紘一	南薩	枕崎市立枕崎中(教諭)
	講師	徳 正義		任期満了	教諭	川口 多幸		新規採用
	講師	大原 由佳理		任期満了	講師	徳 正義		和泊町立城ヶ丘中(講師)
	養護教諭	山田 浩美	県立	県立いろは中(養護教諭)	養護教諭	今東 花菜子	大島	和泊町立和泊中(養護教諭)

沖永良部と畜場の閉鎖及び助成事業について

沖永良部と畜場は昭和46年から供用を開始してきましたが、施設の老朽化や利用頭数の減少により令和8年3月末で閉鎖となります。機械設備の故障や建物の老朽化等で復旧困難な場合は前倒しで廃止することもありますので、ヤギ等の家畜を飼っている方は期限までに御利用ください。また、閉鎖後は徳之島食肉センターへヤギ等の家畜を自ら持ち込み、と殺・解体は同センター職員が行うことになります。2泊3日の旅程になることから、旅費の助成を行います。助成額については下記のとおりです。

● 機械設備の故障や建物の老朽化で復旧困難となり前倒しで廃止する場合

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{船舶費 ※1} \\ \hline \text{沖永良部 ⇄ 徳之島間の} \\ \text{離島割引適用料金(往復)} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{宿泊費} \\ \hline \text{1泊上限4,000円} \\ \text{の2泊分} \\ \hline \end{array} \times 70\% = \text{助成額} \quad \text{※2}$$

● 令和8年4月から令和10年3月まで(2年間)

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{船舶費 ※1} \\ \hline \text{沖永良部 ⇄ 徳之島間の} \\ \text{離島割引適用料金(往復)} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{宿泊費} \\ \hline \text{1泊上限4,000円} \\ \text{の2泊分} \\ \hline \end{array} \times 50\% = \text{助成額} \quad \text{※2}$$

※1 自動車航送運賃表の貨物車3m未満の料金を上限とする ※2 100円未満の端数切捨て

* 移動中の事件、事故について本組合は一切責任を負いません * 助成事業の適用期間終了後は、利用状況等を考慮し継続又は廃止の検討をします

沖永良部衛生管理組合 / TEL:0997-92-2042

自動車税納付について

自動車を所有する皆様、納期内納付ありがとうございます。自動車税種別割は、毎年4月1日時点で自動車(軽自動車は除く)を所有している方に納めていただく税金(県税)です。納め忘れがないようにしましょう!

納税通知書
発送日
4/25(金)

納付期限
6/2(月)

自動車税種別割について、納税通知書が届かないなど、御不明な点がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

国立公園内での行為について

国立公園内での開発行為等については、手続きが必要です。

国立公園は自然の風景地を保護し、その利用促進を図り、国民・県民の保健・教養・教化に資するとともに、生物の多様性を確保することを目的として国（環境省）の指定を受け管理されているもので、奄美群島の一部地域は、奄美群島国立公園に指定されています。国立公園内では、優れた風景地を保護するため、自然公園法に基づき、各種開発行為が規制されています。国立公園内において、次のような開発行為等を行う場合は、事前に国や県への許可申請・届出の手続きが必要となります。

第1種・第2種・第3種特別地域

- ① 工作物（建築物を含む）の新改増築 ② 木竹の伐採 ③ 鉱物や土石の採取 ④ 広告物の掲出
⑤ 野外での物の集積・貯蔵（土石・廃棄物等） ⑥ 開墾・土地の形状変更 ⑦ 屋根・壁面の色彩の変更 など

普通地域

- ① 一定規模以上の工作物の新改増築（建築物高さ13m又は延面積1000㎡、鉄塔高さ30m、送水管長さ70mなど）
② 鉱物や土石の採取 ③ 広告物の掲出 ④ 土地の形状変更 など

国立公園の範囲や区域内での許可申請・届出について不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

和泊町役場企画課 / TEL:0997-84-3512

令和7年度がん検診日程

20歳を超えたら検診を受けよう！

がんは、和泊町の死亡原因の第1位です！日本人の2人に1人ががんになり、男性の4人に1人、女性の6人に1人ががんで亡くなっています。20歳を超えたら1年に1回は検診を受けて、疾病の早期発見、早期治療に努めましょう。

検診名	日程	対象者	場所	受診票配布
肺がん・結核検診	6月12日（木） 6月17日（火）	20歳以上の町民	各字公民館 旧保健センター	5月区長会
子宮頸がん・乳がん検診	6月18日（水） 6月23日（月）	【子宮頸がん】 20歳以上の女性 【乳がん】 30歳以上の女性	玉城字公民館 国頭研修会館 内城字公民館 旧保健センター	5月区長会

- 詳しい日時・場所・料金等は、受診票に記載されていますので、御確認ください。
- 御不明な点は保健センター（0997-84-3526）までお問い合わせください。

和泊町役場保健福祉課 / TEL:0997-84-3517

ウェブによる登記手続案内のお知らせ

開催日

- 令和7年5月27日(火)・7月15日(火)・9月9日(火)・11月11日(火)
- 令和8年1月13日(火)・3月3日(火)

開催時間

午前10時・午前11時・午後2時・午後3時の4回 ※ 事前予約制

開催場所

和泊町役場2階会議室(議場側)または御自宅
※ 役場の開催場所は、変更になる場合があります。
※ 御自宅の場合は、インターネット環境があるパソコン・スマートフォンなどが必要です。

対象者

和泊町民(登記の申請を予定する当事者又は代理人となる親族等に限ります。)

利用方法

開催日前週の金曜日までに電話予約
【法務局 TEL:0997-52-0383】

法務局ホームページに代表的な登記申請書の様式を掲載しています。
事前に御準備いただくとスムーズです。



鹿児島県地方法務局奄美支局 / TEL:0997-52-0383 ・ 和泊町役場総務課 / TEL:0997-84-3511

保健福祉課

5月は赤十字運動月間

日本赤十字社の活動資金への御協力をお願いします。お寄せいただいた御寄付は、防災・減災の普及啓発や青少年の育成など、いのちと健康を守る赤十字の活動にカタチを変えて様々な場面で大切に活用されています。赤十字活動への御理解と、活動資金への御協力をお願いいたします。



※令和6年沖永良部島青少年赤十字一日リーダーシップ・トレーニング・センターの様子

日本赤十字社和泊町分区(和泊町社会福祉協議会)
TEL:0997-92-2299

土木課

5月1日から盛土等は県の許可が必要です

盛土等に伴う災害から人命を守るため、令和7年5月1日(木)に、和泊町全域が盛土規制法に基づく規制区域に指定されます。規制開始後は一定規模以上の盛土や切土、一時的な土石の仮置きについて、安全基準に適合させるとともに、鹿児島県の許可が必要となります。また、5月1日時点で行っている規制対象工事については5月22日(木)までに届出が必要です。

詳しくはQRコードから
鹿児島県のホームページを
御確認ください。



鹿児島県土木部監理課盛土対策室
TEL:099-286-3695

INFORMATION

令和7年度には2つの選挙が
予定されています

皆さん、棄権せずに投票しましょう！

【和泊町長選挙】

任期満了に伴う和泊町長選挙が行われます。

- 任期満了日…令和7年6月13日
- 投開票日…令和7年6月22日
- 告示日…令和7年6月17日
- 期日前投票期間…令和7年6月18日～21日

【第27回参議院議員通常選挙】

任期満了に伴う参議院通常選挙が行われます。

- 任期満了日…令和7年7月28日
- 投開票日…令和7年7月予定
- 公示日…令和7年7月予定
- 期日前投票期間…公示日翌日から16日間

ハンセン病患者家族に対する

補償金制度

令和元年（2019年）11月15日に、議員立法により「ハンセン病患者者家族に対する補償金の支給等に関する法律」が成立し、同年11月22日に公布・施行されました。また、令和6年（2024年）6月12日に、議員立法により「ハンセン病患者者家族に対する補償金の支給等に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、同年6月19日に公布・施行され、補償金の請求期限が令和11年（2029年）11月21日まで延長されました。法に基づき、対象となるハンセン病患者の御家族の方々に補償金を支給いたします。

【お問合せ】厚生労働省報償金相談窓口

電話：03・3595・2262

5月から増加する

マリインレジャー中の事故に注意を

奄美海上保安部

古仁屋海上保安署

奄美群島では、5月に入るとマリインレジャー中の事故が増加する傾向となっています。海で遊ぶ時は、単独行動しない、ライフジャケットの着用、天気や体調を確認し無理をしない等、安全にお楽しみください。

【お問合せ先】奄美海上保安部交通課
電話：0997・53・5569

戸籍に記載される予定の 氏名のフリガナを通知します

令和7年5月26日改正戸籍法の施行により、戸籍に氏名のフリガナを記載するために、氏名のフリガナの通知を行います。和泊町に本籍がある方に対して、令和7年7月頃から、戸籍に記載される予定の氏名のフリガナの通知書（圧着ハガキ）を発送する予定です。通知書が届いたら、記載されているフリガナの確認をお願いします。

- 誤っていたら
マイナポータルまたは町民支援課で届出を
してください。

- 正しかったら
届出は不要です。通知されたフリガナが戸籍に
記載されます。

詳しくは法務省ホームページを
御確認ください。

【お問合せ先】町民支援課

電話：0997・84・3516



法務省 HP

＋ 休日診療のお知らせ

6/22	6/15	6/8	6/1	5/25	5/18	5/11	5/6	5/5	5/4	5/3	4/29	4/27
朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院

※変更になる場合があります。当番医院に御確認の上、御来院ください。



Library

目覚めよ！古き懐かしき本！

2月の蔵書点検で、倉庫で眠っている懐かしい本に出会うことができました。図書館には、5万冊以上もの本があります。まだ知らない図書館の奥の世界を一緒に探検してみませんか？



『満天の星のごとく...』

著：鹿児島県大島支庁総務課

時はかけがえのない一瞬の連続。奄美の熱い一瞬をとらえたそのまたたきは、今も、そしてこれからも満天の星のごとく…人々の心の中できらめき続けるだろう。



『写真で見る和泊の歩み』

著：和泊町

本誌は、平成3年に『町制50周年記念』として、発刊されました。あれから更に34年経った今でさえ本誌の中の「現在のすがた」(P52～)が懐かしく思えます。



『沖永良部島昔話』

著：岩倉 市郎

喜界島出身の岩倉市郎先生が昭和11年に来島され、約1ヶ月間の滞在中に、速記術により昔話を採集し編集されたものです。当時の語り手の方々も故人となり、この種の昔話は採集不可能。島の文化遺産となる貴重な1冊です。

新着本 / 一般書

- 『ゲートはすべてを言った』 著者：鈴木 結生
- 『謎の香りはパン屋から』 著者：土屋 うさぎ
- 『ウクライナはなぜ戦い続けるのか』 著者：高世 仁
- 『ユダヤ人の歴史』 著者：鶴見 太郎
- 『お台場アイランドベイビー』 著者：伊与原 新
- 『セルフフィの死』 著者：木谷 有希子

あたらしくはいったほん / じどうしょ

- 『ぼとんぼとはなんのおと』 かいたひと：神沢 利子
- 『ころころころ』 かいたひと：元永 正政

あたらしくはいったほん / じどうしょ

- 『たろうのおでかけ』 かいたひと：村山 桂子
- 『どんどんめぐり』 かいたひと：やぎ たみこ
- 『フライパン』 かいたひと：きのした けい
- 『わすれていいから』 かいたひと：大森 裕子

寄贈書

- 『暮らしの医学大百科』他4冊 寄贈者：玉松 文吉
- 『夜空にひらく』 寄贈者：和田 百合枝

※この他にもたくさん配架しています。

和泊町立図書館

TEL:92-3033/FAX:92-0773



【休館日】毎週月曜日・祝日・整理休館日 【開館時間】午前9時30分～午後6時

- 整理休館日は毎月15日です。月土日・祝日に係る場合は変更します。
- 図書館を御利用の際は・本を入れるバッグの持参に御協力ください。
- 休館日の返却は、入口横のポストへお願い致します(紙芝居以外)。
- 返却期日をお守りください。

戸籍の窓

町の人口

※ 4月1日現在()は前月比
※ 外国人を含む

総人口：5,888人(-75) 世帯数：3,220戸(-22)

男 性：2,945人(-46) 女 性：2,943人(-29)

結 婚

氏 名	住 所
鈴木 優輝・南 愛佳	西原・西原
池山 凜星・柏木 万由子	和・南足柄市
宮内 聖・徳 美幸	和・東京都

出 産

子の名前	性別	保護者	住所
松岡 想真(そうま)	男	泰治・香織	手々知名
池田 粹(すい)	女	優羽・恵梨奈	和泊
末川 玄(げん)	男	航・文子	和泊
萩原 理都(りつ)	男	禅・有佐	手々知名

おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
1 / 21	田浦 ユキ	95	手々知名
2 / 3	大屋 博實	69	西原
2 / 4	大福 富次	87	和
2 / 8	大吉 旭	89	和
2 / 21	源 信一郎	80	手々知名

おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
2 / 27	山崎 キク	95	畦布
2月下旬	池田 芳隆	74	国頭
3 / 2	林 秀代	63	兵庫県小野市
3 / 6	沖 シヅ	103	手々知名
3 / 12	東 しずの	73	伊延
3 / 17	山下 忠弘	91	根折
3 / 22	中島 朝子	92	和

香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
大吉 愛子	大吉 旭	夫	和
山崎 義之	山崎 キク	母	畦布
源 節子	源 信一郎	夫	手々知名
東 秀二	林 秀代	姉	手々知名
大山 茂豊	大山 光枝	母	手々知名
東 秀光	東 しずの	妻	伊延
関山 清彦	関山 川清	父	瀬名
盛山 菜穂子	福山 織緒	母	手々知名

2025年2月1日から2025年3月31日までのお届けのうち、掲載依頼のあった届けのみを掲載しています。(敬称略)

地域おこし協力隊OG 浅野 舞子



3月末で一年半の地域おこし協力隊の活動を終えました。観光協会での仕事や、いくつかイベントに参加するようになったり、農業のアルバイトしたり、沖永良部島暮らしで新しい体験を通じて、島のことを知り、知り合いが増え、移住してからの一年半はあっという間に過ぎたような、まだそれくらいかとも思う感覚です。新しい発見はちよつとずつ自分のものに消化されるようになり、「沖永良部島×自分」をどんな形にしていくのかを絶賛妄想中です。妄想の詳細はまたこの機会にお話しできたらと思います。寒かった冬が終わり、大好きな季節がやってきました。引き続き島暮らしを楽しんでいきたいと思っています。

地域おこし協力隊日記

6月2日は 島ムニの日

5月31日～6月6日は
島ムニ推進イベント週間！
イベントの詳細はこちら▶



和泊町島ムニ継承推進協議会・知名町島ムニ継承推進協議会・国立国語研究所

もしものために知っておきたい
がん陽子線治療説明会

5月31日(土)
13:30～14:30
(13:00開場)

予約不要
参加無料
定員50名

和泊町役場 結いホール
大島郡和泊町和泊10番地

どなたでも参加できます
お気軽にお越しください



説明会終了後に個別相談も承ります。(ご予約優先)

お問合せ、個別相談のご予約

メディポリスコールセンター

0120-804-881

(平日9:00～18:00) 鹿児島県指宿市東方4423番地 メディポリスHP



主催：(一社)メディポリス医学研究所 共催：和泊町保健福祉課

有料広告募集!

和泊町の広報誌「わどまり」に広告を掲載してみませんか?あなたのお店や会社、イベント等のPRに是非お役立てください!

- 掲載料(1枠あたり)：町内 15,000円 / 号
町外 20,000円 / 号
 - 掲載枠数：各号最大2枠
 - 申込期限：発行日の1か月前まで
 - 申込資格：「和泊町広告掲載取扱要綱」を遵守できる方
 - 規格：サイズ / 縦122mm × 横92.5mm
- ※原稿は本媒体に適した形式及び解像度のデータを提出してください。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【申込・お問い合わせ】

和泊町役場企画課 / TEL: 0997-84-3513



和泊町広報誌「わどまり」は地方自治体の情報をお届けするアプリ「マチイロ」でも御覧になれます。

iOS

Android

